

## 五戸総合病院での研修を終えて

2022年5月 十和田市立中央病院 初期研修医 成田 茂樹

2022年5月2日から5月27日まで、内科で研修をさせていただいた、十和田市立中央病院初期研修医の成田茂樹です。COVID-19の感染収束もなかなか見えないような状況の中、研修を受け入れていただき誠にありがとうございました。

研修は外来診療を主体としたプログラムでした。これまでの研修期間で、救急以外で外来を経験したことはほぼ皆無であり、不安も感じておりました。そのような中でも、有難いことに「研修医」である私を選択して受診してくださる患者様が何人もいらっしゃいました。その中の多くは定期受診であり、処方や検査結果の説明のみで診察終了となることが多かったのですが、初診で受診された方もいらっしゃり、問診、検査、結果説明、処方という一連の外来の流れを経験することができました。非常に貴重な経験をさせていただき、感謝の気持ちで一杯です。

私は将来的に総合診療医を目指しており、訪問診療なども含めた地域医療に携わりたいと考えております。十和田市立中央病院も地域医療を担う病院の一つではありますが、貴院は、正に私が頭の中に描いていた「地域に根付く病院」だったからです。「かかりつけ医」でもあり、急性期も可能な範囲で対応し、なおかつ、直接受診できない患者様も訪問診療でカバーする。地域の住民にとって、これほど安心できる病院はないのではと感じました。

今後、地域における開業医の先生の高齢化も進むことから、閉院を余儀なくされ、現在以上に貴院のような病院の存在意義が大きくなると私は考えております。これまで「地域医療に貢献したい」という漠然とした考えは持っていましたが、貴院での研修を機に、その部分が色濃く明確に見えてきたと感じています。

ゴールデンウィークを挟んだことにより、実際には約3週間の研修期間となってしまいましたが、これまで初期研修として研修してきたどの診療科よりも多くのことを考え、自分の将来につながる期間になったと思っています。また、帝王切開に立ち合わせていただいたり、外科の手術にも参加させていただいたり、内科での研修といった垣根を超えて、幅広く経験をさせていただけたことにも感謝の気持ちで一杯です。

最後に、今回研修を受け入れてくださった指導医の佐藤先生、新井田先生をはじめ、院長の安藤先生やスタッフの方々に大変お世話になりました。何一つの不満や不自由なく、楽しく研修をさせていただきました。

ここでの経験を活かしながら、今後は私自身が考える医療を、少しでも多くの患者様に提供できるよう日々邁進していきたいと思っております。本当にありがとうございました。